

2018年度 事業報告書

<総括的概要>

2018年度は、一昨年(2017年)に財団設立25周年、IFIビジネススクール開校20周年を迎えホテルニューオータニで「感謝の集い」を盛大に行うことが出来、「リ・スタートの年」と位置づけマーケットの変化に対応し人財育成に対するニーズを確認しながら運営してまいりました。

また、2012年4月に一般財団に移行して7年間、ファッション業界も厳しい環境下ではありましたが各企業のご協力、ご支援を頂きながら無事に運営することが出来ました。

基幹コースにつきましては、2018年度にマスターコースをアドバンスコースに変更してファッション業界における真のプロフェッショナルを育成し業界の更なる発展を担うリーダーを育てるというスローガンのもとに新たなスタートを切ることが出来ました。

それぞれのスキル向上のため当ビジネススクールの看板コースであるプロフェッショナルコースにおいては中核であるファッションMD講座に加えて2015年にスタートしたモノ創り講座のブラッシュアップ、そして2018年度に新たにデジタルビジネス講座をスタートさせました。

また、エグゼクティブコースにおきましては、2016年「グローバル×デジタル」2017年「AI×人間による知識創造」を経て2018年度は「DX<デジタルフォーメーション>時代のリーダーシップ」をテーマにAIやテクノロジーの進化に対応すべく経営幹部の方々と共にファッション産業の未来を考えていく場を作ってきました。

研究会短期プログラムとしては、現在もっとも大きな関心事である物流問題と取組みロジスティクス研究会を2017年にスタートさせ2018年度は、異業種の方々の参加も含め活発な講座を展開してきました。

更に、「デジタル時代のファッションビジネス」をテーマに企画、生産に携わる方々を対象にシステムソリューション、IOT、AIの活用とグローバル化への対応を目的としたファッションテック講座の第二弾も開催し好評を頂きました。

IFIビジネススクール開校以来、基幹コースの修了者数は6312名となり、多くの人達が業界の第一線で活躍されています。先輩達に続く人材の育成は勿論のこと、大学講座及び産学連携についても財団として引き続き貢献していきたいと思っています。

2018年度 事業活動概要

I. 事業実施状況

実施事業

継続1事業

基幹コース

●アドバンス・コース

アドバンス・コースは特定分野のスキルアップの為ではなく、次世代のリーダー育成を目的として、「高い経営知識」や「ファッション産業における必要不可欠な知識」また、イノベーションを実行する為の優れたリーダーシップやコミュニケーション能力など、「人間力」を身に着けるプログラムで構成されている。

2018年5月9日に第一期生11名でスタート。コース内容、カリキュラムについては、初年度という事もあり、受講生と一緒に議論をしながら、より良い講座編成を目指し、12月15日に第一期修了生を送り出した。

コースの特徴

◎現場の第一線で活躍する多彩な講師陣と異業種間交流によるネットワーク創り

⇒ ファッション分野だけではなく、様々な業種で専門分野をお持ちの講師がインタラクティブに授業を進行。アイデアを単なる思い付きで終わらせるのではなく、ビジネスプランとして具現化するため、実業経験豊富な講師やクラスメイトとのネットワーク作りを重要視した。

講師陣は、「経営リテラシー」「FBエッセンシャル」「人間力」という各カテゴリーの講座コーディネーター4名を含め、総勢22名の講師が登壇。

◎見て、触れて、議論する実践授業

⇒ 「創」「工」「商」の各分野にわたり、徹底して自らが「思考」することにフォーカス。様々な題材を採り上げ、そこから何が発見できるのか、問題解決できるのか、調査・議論しながら「考える力」を養う為、各カテゴリーの授業の中で、活発なディスカッションを行った。

“三つの力”で真のプロフェッショナルを育成

経営リテラシー	FB エssenシャル
<ul style="list-style-type: none"> ・事業と競争の戦略 ・ファイナンス ・アカウンティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング概論 ・ファッション・マーケティング
<h3>人間力</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・起業マインドセット ・イノベティブ思考 ・デザイン思考 	

●プロフェッショナル・コース

現場実務者向けの夜間週一回、半年間に渡る実践コース。ファッションビジネスの第一線で活躍している講師陣による講義を通して、知識を習得すると共に、グループワークによる「課題発表」などを通じて、受講生相互間のネットワーク構築が出来るコースとして、派遣元の企業から評価を得ている。

2018年度は既存の「ファッションMDの基礎」「ファッションMDの実践」「モノ創り講座」の3講座4コースに加え、“ECの強化”に多くの企業が注力する中、「店舗」と「デジタル」の両方を理解し、自社の「デジタル戦略」を組み立てられる人材を育成する為、新たに「デジタルビジネス講座」を開設した。この新講座で年間45名の受講生を獲得する事が出来た為、「プロフェッショナル・コース」合計の年間募集予算160名に対し、162名の受講生募集実績を残す事が出来た。

講座名	期間	開催日
「ファッション MD の基礎」	4～9 月	月曜
「アパレル MD の実践 A」	4～9 月	水曜
「アパレル MD の実践 B」	4～9 月	木曜
「デジタルビジネス講座」	4～9 月	木曜
「モノ創り講座」	4～9 月	金曜
「ファッション MD の基礎」	10～3 月	月曜
「アパレル MD の実践 A」	10～3 月	水曜
「アパレル MD の実践 B」	10～3 月	木曜
「デジタルビジネス講座」	10～3 月	金曜
「モノ創り講座」	10～3 月	金曜

●エグゼクティブ・コース

経営者および経営幹部向けの一泊二日の合宿形式による夏期セミナー。2018 年度は 7 月 21・22 日の 2 日間、ホテルニューオータニを会場として開催。

今回は、「DX 時代のリーダーシップ」～共感・共鳴の場創り～という全体テーマに沿いながら、一條学長のファシリテートのもと、SMBC の野村部長には「当面の内外経済・金融市場見通しと日本経済の中・長期的な課題」について、トランスコスモス（株）経営戦略本部長の神谷常務には、「進化を続ける企業消費者間コミュニケーション」と題して、デジタルサービスの在り方やコミュニケーションの変化のトレンドを、海外の状況や国内の事例を踏まえて紹介いただいた。また、奥谷孝司氏と岩井琢磨氏には対談形式で、共著である“世界最先端のマーケティングを学ぶ”という本を教材として、オンラインとオフラインの両方を活用して顧客との繋がりを創り出していく「チャンネルシフト戦略」についてお話いただいた。

2 日目は、2018 年度の日本ファッション協会「日本文化貢献賞」を受賞した、創立 300 年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける（株）小西美術工藝社 代表取締役社長のデービッド・アトキンソン氏による、「生産性立国論」の講義で、「日本がこれから迎える、かつて経験した事のない“人口減少社会”に向けて、生産性の本当の意味を理解した経営改革を行い、人口減少に対応する打開策を打たない限り日本の未来はない」という主旨の、セッションの総括に相応しい講演をしていただいた後、一條学長とのトークセッションも行った。

以上、講義内容の充実は勿論の事、施設やホスピタリティーについても更なるグレードアップを図った結果、受講後アンケートに於いて、カリキュラムの内容、講座運営、施設や食事面などすべての点で高い評価を獲得することが出来た。

受講者数は、2017 年度の 30 名に対し 32 名の実績。

特別プログラム

●短期集中講座

特定分野を深耕する為、短期間に集中して実施する講座。ストリート・フォトグラファーのシトウレイ氏をコーディネーターに起用した「シトウレイ・ファッションセミナー」を継続開催（第8回・第9回）し、各回200名を超える受講者を動員。「実践VMD」も年2回実施。また、新講座として半日開催の「デジタル時代のファッション・ビジネス」と題したセミナーを実施。65名の受講者実績。

テーマ	期間
・実践ビジュアル・マーチャンダイジング	(6/1・6/8・6/15) (11/22・11/30・12/7)
・シトウレイ ファッションセミナー	4月26日、11月21日
・e-Learning 「素材の基礎知識」	随時
・e-Learning 「洗濯・保管の基礎知識」	随時
・デジタル時代のファッション・ビジネス	3月19日

●地方開催講座

プロフェッショナル・コースの地方での開催要望に応じて、「ファッションMD講座」の内容を5日間に凝縮して大阪（ドーン・センター）で開催。

	期間
・大阪開催講座	5月～6月・11月～12月

●大学講座

「ファッション人材の育成事業」の産学連携プロジェクトとして、学生のファッション産業に対する正しい理解と、有能な人材を業界内に受け入れる事を目的に、大学の学部でファッション・ビジネスの基礎講座を単位付で設置し、2018年度は7大学で8講座を運営。

大学名	学部	講座名
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッション産業のフロンティア
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッションビジネス戦略論
明治大学	商学部	ファッション・ビジネスの実際
東京経済大学	経営学部	産業特論Ⅰ・ファッションビジネス論
同志社大学	経済学部	クリエイティブ産業論
目白大学	社会学部	ファッション・ブランド戦略論
横浜市立大学	国際総合科学部	ファッション・ビジネス戦略論Ⅰ

首都大学東京	都市教養学部	経営学特殊講義・ファッション産業の現在
計		7 大学 8 講座

継続 2 事業

●アドバイザー・ボード

I F I が運営する講座の内容や運営手法について、意見やアドバイスを具申・提案する委員会。2018 年度は、2 月 5 日に開催。時代が大きく変化している中で I F I に今後求められる新たな“価値創造”などについて提言を頂いた。

●調査・資料収集

図書および資料の収集並びに一般への公開

ファッションビジネスの調査・研究に有益な図書並びに資料等を収集し、広く一般に公開しているが、さらに内容を充実するため、講師の書籍やファッション誌などを増強。夜間コースのプロフェッショナル・コース受講生の活用が増加した。

その他事業

他 1 事業

●カスタムメイド・プログラム

カスタムメイド・プログラムは、企業や団体の要望に応じ、それぞれが抱える課題を克服する為の最適なカリキュラムを構築し、研修で改革を進め、初期の目的を達成していくプログラム。

- ・ LVMH 「ファッション・ベーシック・トレーニング」
- ・ (株)そごう・西武 「産地研修」
- ・ イオンリテール (株) 近畿北陸カンパニー 「衣料品担当者研修」
- ・ イオン・チャイナ商品部研修
- ・ (株)高島屋 「シニアマネジャー研修」
- ・ (株)小田急百貨店 「営業力強化研修」 「VMD 研修」
- ・ (学)岩崎学園 横浜 f カレッジ

他 2 事業

●調査・研究事業

1. 「I F I 繊維ファッションビジネス研究会」

繊維ファッション産業を取り巻く環境が大きく変化しようとしている中で、“旧来の常識を打ち破るイノベーション”が各業種で求められている。I F I では、このような環境の変化や業界のニーズにきめ細かくスピーディに対応するため、平成 23 年度からその時々旬な情報を提供し講師と共に課題について考える「研究会」を立ち上げ、平成 30 年度末迄でのべ 78 回の講演を

積み重ねて来た。この研究会は1年間の会員制で、30年度の会員数は51社。

	会員	開催
「IFI繊維ファッションビジネス研究会」	51社	10回

***2018年度 年間動員人数 723名**

2. 「IFIロジスティクス研究会」

オムニチャネル時代をむかえ、企業戦略として今後不可欠なのがロジスティクスの戦略。この研究会では、ファッション企業のロジスティクスの現状と課題を明らかにすると共に、自社・3PL各社の取り組みを共有。下期は物流センター見学も研修に取り入れながら毎月1回のカリキュラムで実施。

	開催
— クリエイティブ・ロジスティクスへの挑戦 —	12回

●交流・協力事業

1. 墨田区との共同事業の推進

墨田区は当財団の最大の出捐元であり、地元の繊維ファッション企業も多くが出捐している。その墨田区との連携を一層強化するため、「墨田区・IFI連絡協議会」において「ファッション産業人材育成支援事業」（授業料補助）の制度を活用して地元企業に還元した。さらに「すみだ次世代経営研究協議会」に委員として参加したほか、地元の東京ニットファッション工業組合（TKF）に、IFIがどのような貢献ができるかについて意見交換した。

2. 繊維ファッション産学交流会議への参加

繊維ファッションに関わる企業と学校関係者との交流を深めるため、「繊維ファッション産学協議会」にIFIも加盟しており、理事長が同協議会の理事を兼務。

3. 日本ファッション産業協会

アパレルやハンドバック、靴、寝装具など13団体で構成する「日本ファッション産業協議会」にIFIも参画。業界横断的な人材育成事業委員会を担当。

4. 日本プロフェッショナル販売員協会

消費者ニーズが多様化・高級化する中で、ブランドを差別化して更なる業績の向上を図るには、消費者に商品の価値を伝える販売員の役割が重要。その地位向上を図る目的で設立された同協会に於いて、会員企業から派遣された販売員のためのスキルアップ講座を推進。